

第16回日本ボランティア学習学会第4分科会



○当日の流れ

すべて高校生実行委員が進行しました。実行委員は都立新宿山吹高校から2名、順天高校から2名、東京女学館高校から6名の計10名です。

まず

10:00～10:30 アイスブレイク：聖徳太子ゲームを行い雰囲気が和やかになりました。

10:30～11:10 高校生の日常活動の発表で、2校から発表がありました。

- 1) 高校生の国際協力（東京女学館高校ボランティア部のフィリピン支援）
昨年8月に高校生スタディツアーに参加した生徒が中心に発表しました。自分たちの日常の支援活動が現地の人たちにどのように受け止められているのか、どう役立っているのかが理解できたことと、現地の同じ世代や子どもたちとの交流の楽しさ、また熱帯林再生の植樹を実際に行った体験などが述べられました。
- 2) 日本で一つしかない部の活動（都立新宿山吹高校ネコ部）
地域と協力して捨て猫のケア、そして同じ捨て猫を出さないサポートを続けている。同じ高校の映画制作部が作成したビデオが上映され、地域のフリマなどでの資金作り、地域の人たちへの活動の周知・理解など苦心の活動が紹介されました。こういう場で自分たちの活動が理解を得ていくことが大きな喜びであるとの発言がありました。

11:10～12:10 参加者が希望に沿って2つに分かれて分科会

①心肺蘇生法・AEDを学ぼう

日赤の救急救命の方にスーパーバイザーとしてお手伝いをお願いしましたが、実行委員が5台の訓練用AEDを使用して参加者全員にその救命法の体験学習を成功させました。

②手話で歌を紹介しよう

新宿区聴覚障害者協会（秋山郁子さんほか3名）の方々にご協力いただきましたが、これも実行委員が進行して、「上を向いて歩こう」と「NHK 東日本大震災プロジェクト『花は咲く』」2曲の手話コーラスを完成させました。

12:10～12:50 意見交換会（全体会）：2つの分科会の体験発表と意見交換

まず、心肺蘇生法のデモとその感想、手話は参加者全員による2曲の手話の披露を行いました。意見交換では、学校の枠を越えて互いに交流できることが大きな学びになること、喜びになること、そして実行委員として活動する場を与えられて成長できたことなどの意見や感想が出されました。

13:00 閉会

(橋本洋光)

